

国頭村環境教育センター『やんばる学びの森』グランドオープン

国道58号線の与那トンネルを抜け、県道2号線へと右折。道の両側に迫る森の風景に圧倒されながら、安波ダムに向かって20分ほど走ると国頭村環境教育センター『やんばる学びの森』が見えてくる。

村はここを環境保全型慣行推進の目玉と位置づけており、平成19年、安波ダム近くに、フィールドアスレチック場、オートキャンプ場、ネイチャートレイルなどが整備された『遊びのゾーン』を先行オープン。

そして今年春、そこから約1Km離れたダム建設跡地にビジターセンター、レストラン、宿泊棟が完備された『学びのゾーン』が完成、5月25日にグランドオープンした。

学びのゾーン入り口を入ると、まず目を見張るのが、施設の背景に広がる雄大な森と山並みのロケーションだ。レストランの中を歩いてオープンデッキに出てみると、国頭山地のパノラマがさらによく見渡せる。他では絶対見られないこの素晴らしい眺望だけでも、来てみる価値はあるだろう。

『キョキョキョ・・・』耳を澄ますとヤンバルクイナの声が。

この森にはノグチゲラやケナガネズミ、イシカワガエルなどやんばるの希少生物がほぼ全て生息している。

この恵まれた立地条件と学びのゾーンの新施設を生かし、小中学校の宿泊学習、ビジターセンターの研修ルームでは社員研修なども行える。ここにしかない、世界に誇れる自然をぜひ多くの人に体験してもらいたい。

